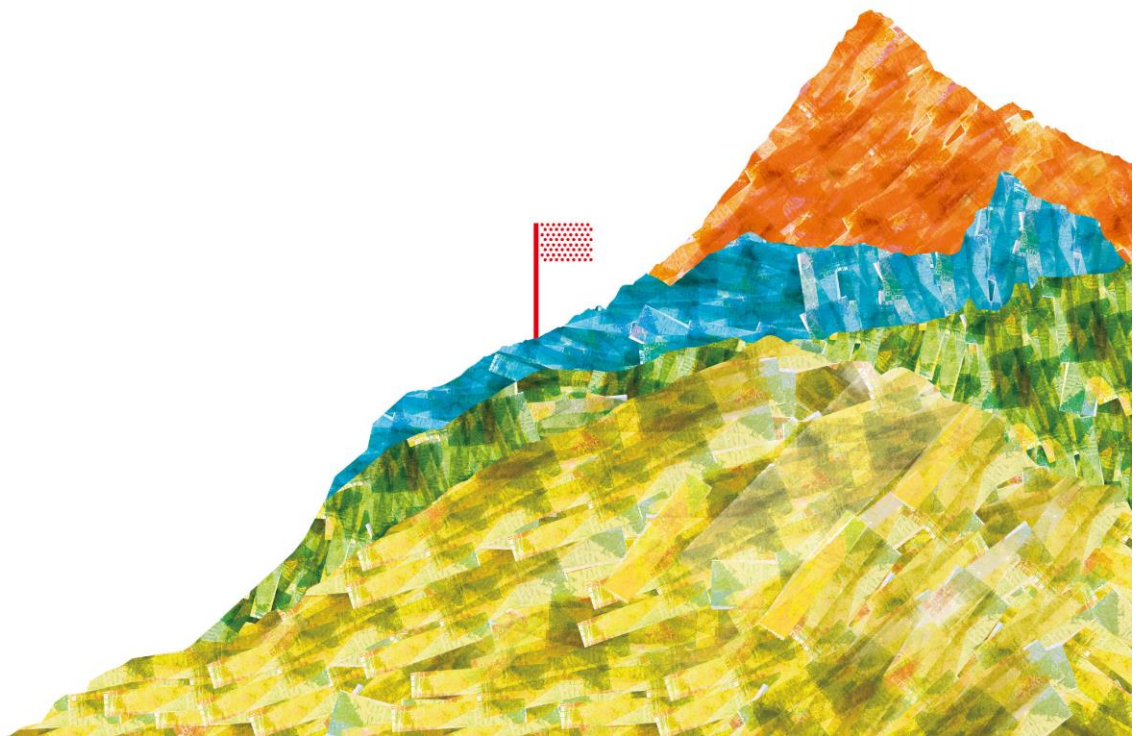


# 令和5年度 事業報告書

(なんぶエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

## 令和5年度事業報告書（なんぶ エリア）

### 1 令和5年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 令和5年度期初は、新型コロナウイルスの感染拡大による事業運営の影響は多少残ったが、それまで縮小傾向であった外部との交流事業や、ボランティア等の受け入れも回復し、コロナ前に近い状態に戻った。しかし約3年間の停滞は、特に通所系利用者ニーズの変化も呼んでいる。地域の高齢者像の分析も必要である。また、介護人財の確保が難しくなっている中で、前年度から外国人財を合わせて10名採用しており、早期戦力化が必須である。人財不足を補い、業務の効率化を進めるためにICTを導入しつつあり、更に普及を進めたい。以前に増して細かい気配りによる運営が必要課題である。
- 3) 地域貢献事業の推進  
今年度、地域貢献として永江地区で開始した「高齢者から子どもまでの居場所」づくり事業を推進し、既存の介護事業と併せて、団地再生につながる地域活性化に取り組む。

### 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 地域貢献事業として、米子市永江地区中心部にあった旧学習塾を購入して全面改修し、4月に「コミュニティーセンターりん RIN」を開設した。バリアフリー化工事を行い、エレベーターを設置し、1階は移転した「米子市尚徳地域包括支援センター」とリハビリ特化型「デイサービスセンターりん RIN」が入居して事業を開始した。2階は地域住民が運営利用する多目的交流スペースとして提供し、高齢者から幼児まで利用できる設備環境を備えた交流スペースとして利用されている。
- 2) 通所サービスの通所介護（デイサービス）をデイケア（通所リハビリテーション）に統合し、地域ニーズに合った体制に移行した。
- 3) 市内で最も高齢化が進んでいるなんぶエリアでは、米子市フレイル予防事業（チェック事業・予防教室）を開始した。数年来住民とともにフレイル対策に取り組んできたこともあり、介護等認定率は市内で最も低く、モデル地域として予防事業を推進した。
- 4) 能登半島地震被災地にD-WAT（災害派遣福祉チーム）による災害支援として2名を派遣し、現地での支援活動を行った。

### 3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) <特養・老健・特定施設において、眠りスキャン・インカム・SDフォンを導入>  
入居者の安全な施設生活の確保および、職員間の業務連携および業務効率化に寄与している。また、記録に関して、全サービスが「すぐろく」に移行。記録のプラットフォームを統一することで、MeLL+での事業所間情報共有を簡便化できるよう活用に向けて取り組みを開始予定。
- 2) <勤怠管理をクロノス・クロッシオンに移行>  
職員の勤怠管理について、管理者および事務職員の作業効率化につながっている。
- 3) <職員の健康維持、職場環境の改善>

労災事故防止のため、中央労働災害防止協会の協力を得て、特養を対象に職場環境の巡回視察、職

員研修、フォローアップと3回の工程で研修を行い、法人にフィードバックした。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員(人)	令和5年度(%)	令和4年度(%)	令和3年度(%)
介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑	80	97.7%	98.6	98.5
ユニット型介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑	24	95.6%	96.3	99.1
介護老人保健施設なんぶ幸朋苑	36	91.8%	88.4	75.9
ユニット型介護老人保健施設なんぶ幸朋苑	44	84.5%	80.4	79.6
グループホームなるみ	27	99.4%	99.4	99.7
デイハウスくずも	25	75.2%	91.4	81.0
デイハウスごせんごく	29	74.9%	76.7	71.0
デイハウスながえ	16	39.6%	98.3	99.6
ケアハウス	50	97.3%	96.3	97.7
生活支援ハウス	20	58.0%	70.2	78.2

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>○供養会 ○開苑秋祭り ○長寿を祝う集い ○餅つき</li> <li>○除草作業 ○開苑祭（なるみ）</li> <li>○さくら保育園とさつま芋づくり交流2回（なるみ）</li> <li>○年忘れ会（なるみ）○長寿を祝う会（なるみ）</li> <li>○秋祭り（くずも）○花火大会（老健）○クリスマス会（老健）</li> <li>○花火大会（特養）○文化祭（特養） ○新年会（特養）</li> </ul>
BCP等訓練実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○火災避難訓練（月日：日中想定、3月日：夜間想定）</li> <li>    なんぶ（10月24日：日中想定、3月14日：夜間想定）</li> <li>    なるみ（6月26日：日中想定、12月6日：夜間想定）</li> <li>    ごせんごく（6月29日：日中想定、12月22日：夜間想定）</li> <li>    ながえ（10月12日：日中想定、3月22日：日中想定）</li> <li>○水防避難訓練（6月20日）なるみ、いしいなんぶに避難</li> <li>    （3月28日）ごせんごく、ながえに避難</li> <li>○11月自然災害、感染症BCPの確認（くずも）</li> </ul>
エリア内研修状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新人研修 ○エルダー発表 ○排泄 ○リスク（剥離 骨折）</li> <li>○健康講座○リスク（服薬） ○救急法 ○看取り ○食事</li> <li>○認知症 ○安全衛生管理 ○姿勢・褥瘡 ○身体拘束・虐待</li> <li>○感染症 ○法令遵守 ○接遇 ○労働災害 ○口腔ケア</li> <li>○ノーリフティング○キャリアパス研修（中堅）○BCP ○防災</li> </ul> <p>エリア内研修：24回実施 実施率100%</p> <p>基礎研修：12回 参加者延べ人数：112名</p>

	<p>月例研修：12回 参加者延べ人数：178名 ・ZOOM開催2回実施</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ISO委員会 ○リスク委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防 ○感染予防対策委員会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会 ○リーダー会 ○チーム会 ○在宅会議 ○ノーリフティング委員会 ○ケアカンファレンス会議（随時） ○苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会 ○身体拘束等適正化委員会</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>○リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討（毎月）、エリアリスク委員を中心にエリア内の3レベル事故、服薬関連事故、ご意見報告について要因分析、再発防止策の有効性について検討を行う。施設での下剤関連の事故は継続するが、人間違いの誤薬は大きく減少する。チーム内での意識の向上や手順の見直しなどにより。下剤関連の是正については、随時記録や集中して確認できる環境を作る必要がある。3レベル事故について、特養、老健、GH等の自立のご利用者の骨折事故が多い。適切な福祉用具の選定や安全に移動できる環境整備をしていくことが必要。ご意見は、コロナも収束し面会が出来る事で減少したが、利用者・家族との思いの乖離による意見もあり、日ごろからのコミュニケーションも必要。：対前年 転倒(15%減)、薬関連(6%減)、表皮剥離(34%減)、車両事故(87%増) 車両事故が毎月のように報告あり。安全運転講習の定期的な開催が必要 ○地域交流委員会：新型コロナ感染症の5類移行を受け、「ボランティアの受け入れ再開と新規ボランティアの獲得」を目標に取り組む。委員会では事業所間の情報交換の場として、ボランティアの受け入れ状況の確認を行い、事業所間で紹介しあうことで活動の場を広げた。職員のボランティア活動参加に対しての広報活動も併せて実施。新型コロナ感染症が5類になったとはいえ、周辺地域での感染拡大、クラスター発生もあり、受け入れの際、問診等行い健康状態の確認を行いながらボランティアの受け入れを行っている。コロナ禍前の受け入れ実績までは受け入れ出来ていないが、受け入れ件数は月を追うごとに増え新規ボランティアの依頼も増えてきている。職員の地域貢献活</p>

	<p>動として春・秋のなんぶエリアクリーン活動として施設内外、加茂川周辺の清掃作業に取り組んだ。職員、家族以外にも地元自治会の方の参加も見られた。トライアスロン、弓ヶ浜シーサイドマラソンへも職員のボランティア参加が見られた。</p> <p>○看護師会：新型コロナウイルス 5 類移行を受けて、毎月エリア感染状況を共有し変動する感染対策の周知に努めた。手洗いチェッカーを年 1 回以上実施し自己チェックをグラフ化、前年度と比較し傾向を共有した。また、前年度までのコロナ中心のチェック項目を標準予防対応に修正し、12 月「感染ラウンド」を実施、各部署とも感染対策の整備は整っている状況を確認した。その他、「ノロウイルス嘔吐物処理手順」の実技演習を月例研修・各事業所で実施した。「感染症 BCP 業務継続計画」作成を目標とし、全事業所作成できた。誤薬防止に関して、前年度比 20%減を目標としたが、15.8%減で達成には届かなかった。次年度は取り組みを強化したい。</p> <p>○研修委員会：エリア内研修にキャリアパス（中堅者）研修を初めて実施した、グループ討議式の研修は他事業所と交流も出来成果も高い。</p> <p>ZOOM での研修開催を実施。参加人数を増やせる成果あり。</p> <p>次世代育成のため、講師の変更を行った。講師を行った職員からは伝えることの難しさの話が出るもののモチベーションアップには繋がっている。</p>
--	---

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○介護職員初任者研修 ○実務者研修 ○家族向け初任者研修</p> <p>○YMCA 米子医療福祉専門学校（栄養 4 名）</p> <p>○企業：あいサポート研修（ごせんごく 1 名）</p> <p>○米子高等学校：（4 名）</p> <p>○山陰摂食嚥下研究会研修：パネリスト 2 名（訪問看護：武良・執行）</p> <p>○日本心臓リハビリテーション学会大 9 回中国支部地方会：発表 4 名（訪問看護：戸田、大塚、矢倉、武良）</p> <p>○鳥取県西部医師会心不全連携パス研修会：講師 1 名（訪問看護：武良）</p> <p>○鳥取県難病支援センター第 47 回研修会：講師 1 名（訪問看護：武良）</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○鳥取県社会福祉協議会えんくるり事業企画委員：松本恭治</p>

	<p>○鳥取県立米子高校学校運営協議会委員：松本恭治</p> <p>○学校法人藤田学院評議委員：徳岡久美子</p> <p>○鳥取福祉のまちづくり推進協議会委員：徳岡久美子</p> <p>○介護福祉士会理事：徳岡久美子</p> <p>○鳥取大学医学部臨床教授：武良恵美子</p> <p>○鳥取看護大学臨地実習講師：武良恵美子</p> <p>○鳥取県西部医師会心不全連携パス委員会役員：武良恵美子</p>
外部表彰受賞状況	<p>○安全運転運航管理者協議会「地区優良事業所」表彰</p> <p>○米子市社会福祉協議会「社会福祉事業関係功労者」表彰（13名）</p>

7 地域貢献実績（保育園含む）

<p>実習受け入れ実績</p> <p><u>延人数</u> 425人</p>	<p>○鳥取短期大学栄養科 ○YMCA 米子医療福祉専門学校</p> <p>○鳥取看護大学 ○米子医療センター看護学校</p> <p>○鳥取大学保健学科 ○米子北高等学校</p> <p>○社会福祉士実習(地域貢献) ○看護サマーセミナー</p> <p>○T-HOC 実習 ○介護支援専門員実務研修</p> <p>○鳥取県看護協会 訪問看護養成実習</p> <p>○松江総合医療専門学校 ○鳥取市医療看護専門学校</p> <p>○日本福祉大学 ○大阪国際福祉専門学校 ○美作大学</p>
<p>ボランティア受け入れ実績</p> <p><u>延人数</u> 34人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワーアレンジメント</li> <li>・学生ボランティア</li> <li>・フラワーアレンジメント</li> <li>・ハーモニカ</li> <li>・ファッションショー（米子南高等学校）</li> </ul>
<p>見学受け入れ実績</p> <p><u>実人数</u> 83人</p>	<p>鳥取県職員、米子市職員、永江地域住民、民生児童委員</p>
<p>地域交流活動実績 1</p> <p><u>実施回数</u> 2回</p> <p><u>実人数</u> 20人</p> <p><u>延人数</u> 20人</p>	<p>（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業）</p> <p>さくら保育園との交流年2回（なるみ）園児20名位</p>
<p>地域交流活動実績 2</p>	<p>（地域の交流事業に利用者と共に参加したもの）</p> <p>実績なし</p>
<p>ボランティア・環境活動等の実参加者数</p>	<p>（ボランティア・環境活動等に1回でも参加した職員数）</p> <p>78人 / エリア職員数</p>

ボランティア・環境活動参加実績1 投入実人数143人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○奥谷一斉清掃参加(なるみ)年2回5名参加 ○なんぶ幸朋苑クリーン活動 5月:62名 10月:60名 ○成実消防団:46回 ○溝清掃:20名
ボランティア・環境活動参加実績2 投入実人数6人	(見守り活動・学校活動の手伝い等) ○永江県営住宅高齢者見守り
地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)	実績なし
地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座、地域包括支援センターのみの活動は除く)	回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。 実績なし
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等、地域包括支援センターのみの活動は除く)	○成実やって未来や塾 ○永江カフェ ○五千石カフェ ○尚徳小学校、成実小学校:高齢者疑似体験

8 その他報告事項

事故の発生状況 (レベル3以上の事故)	こうほうえん事故レベル定義		年間件数
	レベル3	事故の為、医療機関での継続的な治療が必要になった場合	15
	レベル4	事故により、障がいが残った場合	0
	レベル5	事故が死因となった場合	2
虐待及び身体拘束の状況	(実人員、延日数、簡単な状況を記載) (ない場合の例)高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断し、市町村へ通報した事案はありませんでした		
感染症の集団発生状況(保健所報告分)	(報告日、収束日、感染者数を記載) ① なんぶ老健 インフルエンザ 利用者:15名職員:5名 報告日11/3 収束11/20 ② なんぶ老健 新型コロナウイルス利用者:15名職員:11名 報告1/25 収束2/8 ③ CH:コロナ感染 報告10/20 収束10/26 感染者:利用者3 職員3 報告3/25 収束4/4 感染者:利用者7 職員1 ④ SS 新型コロナウイルス		

	報告 5/7 収束 5/14 感染者：利用者 2 職員 4 報告 12/29 収束 1/5 感染者：利用者 4 職員 1 ⑤ 特養 新型コロナウイルス 報告 1/4 収束 1/18 感染者：利用者 14 職員 3		
ご意見	設備に関する苦情	職員に関する苦情	感謝のご意見
	件	13 件	件





社会福祉法人 こうほうえん

---

令和6年6月12日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3111

---